キャラクター名
玄生　幹也（くろき　みきや）

プレイヤー名

シンドローム	エグザイル オルクス	ワークス	UGNエージェントA	カヴァー	ＵＧＮエージェント
オプショナル		年齢	25	性別	男
覚醒	感染	衝動	恐怖	初期侵食率	31　%
出自	安定した家庭	経験	逃走	邂逅	ＵＧＮ箱根支部支部長

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	2	1	0	7		10
感覚	2	0	0			2
精神	1	0	0			1
社会	3	0	0			3

HP	41
行動値	5
(非装備時)	5
戦闘移動	10
全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃			ＲＣ	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
緑の鞭	白兵	10r+4	1	ＬＶ+2		
マイナーコンボ		0				2.3　侵蝕値5　緑の鞭作成　攻撃力を+ＬＶ*2
＜基本コンボ＞	白兵	10r+4		3		1.6　ダメージを与えた場合、重圧付与。侵蝕値4
100%	白兵	13r+4		4		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
コネ：ＵＧＮ幹部	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
異形（フリークス）	P	N		
両親	P　懐旧	N　隔意		
自分を襲ったジャーム	P　執着	N　恐怖		
葛城陸奥	P　信頼	N　不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:　8	残り財産P：　7

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
コンセントレイト：エグザイル	2	2	メジャー	-	-	-		
効果：Ｃ値を-ＬＶする（下限値７）								
緑の鞭	1	2	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果：武器を作成し、装備する								
形状変化：剛	4	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果：シーンの間、攻撃力を+ＬＶ*2　オートアクションで解除可能								
ヒュドラの怒り	4	4	セットアップ	至近	自身	自動	100%	
効果：そのラウンドの間、ダイス+3個　攻撃力+ＬＶ*3　暴走を受ける								
命の剣	1	3	メジャー	武器	-	対決	100%	
効果：攻撃力を+【肉体】する								
エンタングル	2	2	メジャー	武器	単体	対決	-	
効果：ＨＰダメージを与えた場合、重圧を与える　シーンＬＶ回								
デモンズウェブ	4	2	オート	10m	単体	自動	80%	
効果：ＨＰダメージを算出された直後に使用する。ＨＰダメージを-[ＬＶ+1Ｄ]点する　１Ｒ１回まで								
壁に耳あり	3	1	メジャー	-	-	-		
効果：情報判定ダイスを+[ＬＶ+1]個する								
聖痕	1	0	メジャー	-	-	-	Dロイス	
効果 :判定で上昇する侵蝕値合計を-[ＬＶ+2]するこのエフェクトを使用したメインプロセス終了時に、ＨＰを5点失う。シナリオ３回まで使用できる。								
異形の痕	1	-	オート	至近	自身	自動	-	
効果：体の一部が異形に変化する								
異形の歩み	1	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果：触手を駆使して、様々な場所を移動する								
効果：								
効果：								

ＵＧＮ箱根支部に所属するエージェント。
肌の所々が木の幹のようになり、左腕が枝のように複数に分かれ、太さはロープほどもある硬く頑丈な触肢になっている。
戦闘は黒い触肢を使用して攻撃や防御を行なう。
普段は触手を縮め、絡めて腕の形にし、その上に特殊メイクを施したビニール製の手袋を付けることで、普通の腕であるかのようにごまかしている。
ひとたび能力を解放すれば、ビニールは即座に破け、禍々しい触手が露わとなる。
また、肌の一部が異形化しているため、人前で着替えることはない。

幼い頃、ジャームに襲われ、そのジャームのレネゲイドが感染してオーヴァードに覚醒し、変貌。
皮膚の一部が木のようになり左腕が触肢へと変わった。
その見た目から迫害され、逃げていたところをＵＧＮ箱根支部支部長に拾われ、ＵＧＮエージェントとして働くことになる。
そこで触肢をごまかす方法として特殊メイクを施された手袋を提供してもらえるようになり、隠しながらではあるものの、ある程度の平穏を手に入れることができた。そのため、ＵＧＮ箱根支部の支部長には感謝している。
しかしエージェントになっても、その禍々しい触手から、周囲には忌み嫌われ、避けられてしまっている。
任務で活躍すればするほど、気味悪がられ、孤立していくのだった。